

とぎつちょう うちどく すいしん  
時津町は「家読」を推進しています

# たまには テレビをけして

(高学年) 2022年 秋号



発行：時津町立時津図書館

## うちどく 家読とは

かぞく みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく(家読)」です。むづかしいルールは要りません。かぞく みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

かぞく おな ほん よ  
家族で同じ本を読みあったり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator ATSUKO



しんげつ こ  
『新月の子どもたち』  
斎藤 倫/著 花松 あゆみ/画  
(ブロンズ新社)

おさな せい か たい うた れい  
幼いころから聖歌隊で歌ってきた令は、声変わりが始まり、進路を模索する中、不思議な夢を繰り返し見る。それは、死刑になることに何の疑問も持たず、トロイガルトという監獄で死を待つレインの夢。実はレインとは夢の中での令の名前だ。

なぜこんな夢を見るのだろうか。この夢の意味とは…。



こ きょうしつ  
『はじめての子どもパン教室』  
ひとりで焼けたよ!』  
吉永 麻衣子/作  
(主婦の友社)

しょくよく あき せ っかくなので家族でパンを焼いてみよう♪兄妹のむぎくんとふわりちゃんがかんたんにできるパンの作り方を教えてくれるよ! イベントにぴったりのパンのレシピやパンのひみつものについて、自学や自由研究にもぴったりの1冊。



あそ だいすかん  
『ことばで遊ぼう!!ことばあそび大図鑑』  
かいばん  
回文・ダブレット・アナグラムほか』  
青山 由紀/監修 国土社編集部/編  
(国土社)

ことばあそびにはたくさん種類があるのを知っているかな?文字をならべかえる「アナグラム」、スタートのことばを一文字ずつ変えていき、ゴールのことばにできたらクリアの「ダブレット」など。

日本語っておもしろい!家族で問題を出し合って対決してみよう!



ほん としょかん  
『本おじさんのまちかど図書館』  
ウマ・クリシュナズワミー/作  
長友 恵子/訳 川原 瑞丸/絵  
(フレーベル館)

インドに住む小学生のヤズミンは、毎日家に帰るまへの楽しみがある。それは、本おじさんの「まちかど図書館」で本をかりることだ。

ところがある日、一通の苦情の手紙が原因で本おじさんは図書館を続けることができなくなってしまった!そこで、ヤズミンは図書館を守るためにある計画を考えた…。



き なに み  
『木は何を見てきたの?』  
シャーロット・ギラン/文 サム・アッシャー/絵  
高部 圭司/訳  
(化学同人)

私たちが住む町・時津も大きく変わりましたね。新しい道が作られ、たくさんのお店が建ち並び、にぎやかで大きな町になりました。ところで、ナフコやしまむらが建っている場所が、昔、海だったことを知っていますか?なんだか不思議ですね。

これは、ある町を丘の上からずっと見てきた「木」が語るおはなしです。



『やっぱりじゃない!』  
チョーヒカル/作  
(フレーベル館)

ピザかと思ったら…じゃなくてかぼちゃ!電球?…じゃなくてたまご!想像することの大切さ、おもしろさが伝わってくるよ。

絵本『じゃない!』の2作目もとっても楽しい!今回は、英語もついているので得意な人は英語でも読んでみてね。